

岐阜県の プラスチック

岐阜県プラスチック工業組合会報

第47号

活路開拓事業終わり報告講習会開く
提言に業界が取り組むべき方策盛る

東京、大阪、愛知の関連産業と懇談

県内金型加工業界と懇談、協調約す

省エネ交流電流調整器をあっせん

浄油機の共同利用を開始

デザインのすすめ

組合員の工場訪問(大東化工)

事務局だより

松下技術館を見学する工業組合の一行



技術の向上と販路の開拓

『活路開拓事業』で報告講習会開く

提言に業界が取り組む方策盛る

岐阜県プラスチック工業組合が、この1年間、国、県、中央会の助成と指導を得て取り組んできた『活路開拓調査指導事業』は、さる3月31日午後、岐阜産業会館第1会議室で開いた報告講習会をもって全スケジュールを終了した。講習会は事業の報告や調査研究に当たった専門家委員の提言などが行われ、引き続き記念講話として中日新聞本社経済部本多篤志記者よりジャーナリストから見た「東海のプラスチック関連産業の動向」を聞いた。

年間生産額は
1,861億円

岐阜県プラスチック工業組合の活路開拓事業は『業界の全員が事業のいづれかに参加、分担しよう』の考えのもとに事業計画をつくり、推進してきた。事業の基本となったのはやはり『岐阜県内企業の実態調査』で、この結果、岐阜県下のプラ



活路開拓事業の報告と専門家委員の提言が行われた全員講習会
スティック業界は562社、従業員は7,700人にもものぼることがわかった。しかも、その生産活動によって年間1,861億円を製造出荷、岐阜県産業の一翼を担っていることも明らかとなった。

業界が進む方向を模索し提言

実態調査は主として業界の規模と技術面に重点をおいた。したがって経営面とか生産、販売受注などの動向や組合に対する要望は、単なる

アンケート調査では集約しにくいので、県内を10地区に分け『地域集団懇談会』を聞き、組合員、非組合員を問わず全県下の成形業者から切実な意見を集めた。さらにテーマである新技術の方向や新市場を開拓する意味から『県外産地動向の調査』や『関連産業界との懇談会』を実施、岐阜県プラスチック業界が進むべき方向を模索し、種々の提言が行われた。提言の骨子は次頁にかかげたとおりで、こんご業界の新しい指針になる。

支部設立と産業展開催 提言に盛り込まれた対応策

活路開拓はこうした調査・研究活動によって得た岐阜県プラスチック業界が自から求めて行く方向は『技術の向上なくして企業の発展、さらには業界の発展はあり得ない』ことが明らかになり、次のように種々の提言があった。

企業が具体的に取り組むべきテーマは①技術集約度の向上②高付加価値製品への移行③複合加工体制の整備④多種少量生産体制の整備⑤コストダウン能力の強化—などである。

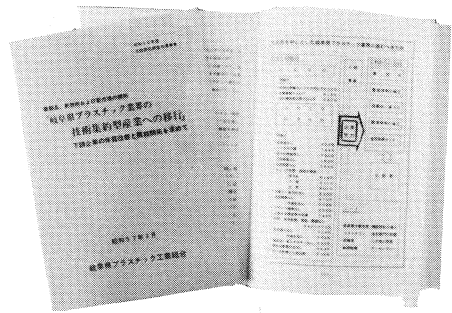
金型センター構想も実現促進

とくに工業組合が業界ぐるみで対応すべき方策としては、

①実態調査で明らかになった岐阜県業界の特性を生かした技術集約型産業への移行と産業地帯としての基盤を固める。

②業界イメージの向上と市場優位性を確保するためのPRと販路を開拓する。

③産業基盤を確立するための組織の充実と共同化事業などの積極的な展開と取り組む。

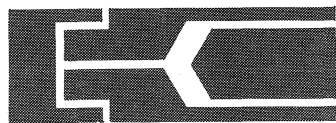


活路開拓事業の報告書

④金型加工業界との連携と県内外関連産業界への協力を要請する。

⑤企業努力を促進できるように工業組合など組織によるバックアップを図っていく。とくに下請受注体制の確立や営業力の強化、技術者の養成、品質管理の指導教育などと取り組む。などの点が提言された。

この提言にもとずき業界として具体化すべきテーマは①県内10地区に支部を設立、工組活動の充実を図る②岐阜県プラスチック産業展を復活開催し、これを機会に業界イメージの向上と販路開拓を図る③金型業界はじめ県内外関連産業界との連携や協力体制を整える④固有技術を持たない企業の集団化（協業化、協同化、グループ化）を図る⑤自動化、省人化および開発体制を確立する—などの努力が要請される。



三菱射出成形機 MFシリーズ

350MF・450MF・550MF・650MF・850MF

三菱重工業株式会社

本社産業機械第一部 東京都千代田区丸の内2-5-1 ☎東京(03)212-3111

名古屋営業所 産業機械一課 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル9階) ☎(052)562-2176



活路開拓で東京 大阪、愛知で 関連産業の代表と懇談

工業組合は活路開拓調査指導事業の一環として、東京、大阪、愛知の3会場ですプラスチック関連業界を代表する企業関係者と懇談会を開いた。これは岐阜県プラスチック業界のあり方を側面から探るのがねらいで、大松理事長ら多数の委員が参加、関連する多業種から卓越した動向を聞くことができた。（発言内容は事業報告書で紹介）

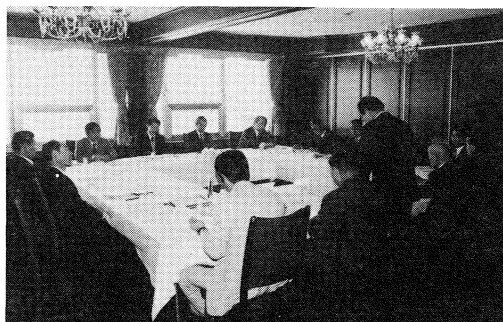
最初に開いた懇談会は、2月26日午前10時から東京・キャッスルで開いた。

席上に招いたのは、佐名木崇夫日本自動車工業会資材部次長、青葉堯東京芝浦電気軽電技術研究所材料研究担当課長、大吉馨オリンパス光学工業生産技術部次長、塩崎昌弘三菱油化樹脂本部射出成形グループリーダーの4氏。この中で青葉氏は『成形業者はたんなる成形技術だけでなく、総合的な部品生産技術を身に付けることが重要である』と力説した。

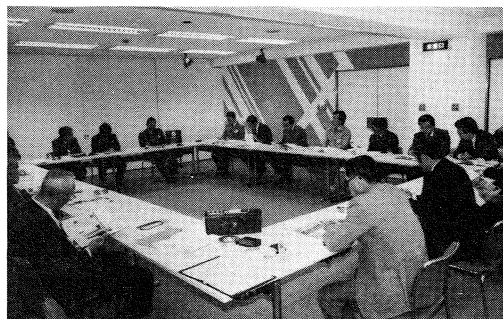
『成形に人手と時間かけるな』

また、大阪懇談会は3月8日、工組一行がマイクロバスで大阪・門真市にある松下電器研究所を訪問、実施した。一行は松下技術館を見学したあと、同社の洗たく事業部、テレビ事業部、生産技術本部の主任技師ら4人と懇談した。懇談の中で『成形部門で人手や時間をかけているのはコスト低下どころかロスが多すぎる。その解決を自動化などで補うことを考えないとこれからの成形メーカーは生きていけない』と結論していた。

最後に開いたのは3月16日、愛知県のトヨタ自動車本社を訪問、都築安彦技術部次長から『自動車メーカーから見たこんごのプラスチック



4 業界代表を招いて開いた東京懇談会



松下電器を訪ねて開いた大阪懇談会



トヨタ自動車を訪ねて開いた愛知懇談会

ク部品の性能』と題して講話を聞いた。

☆北村さん退任☆ 県工業技術センター場長の北村敏雄さんが、3月末で退任された。北村さんは工業技術試験場時代からプラスチック業界の技術指導一筋に打ち込んでこられた人で、退任が惜しまれている。

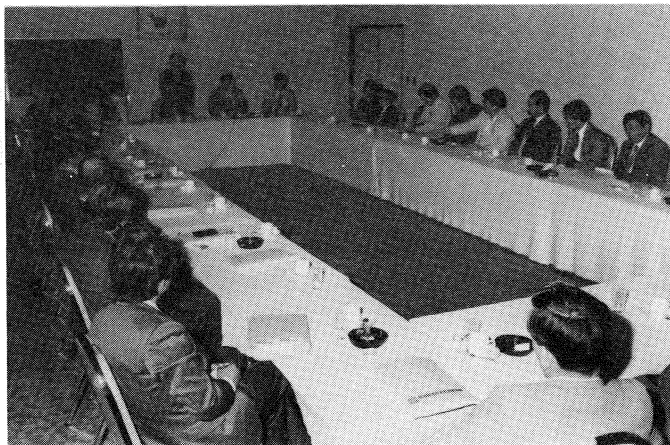
商業界が協力約束 金型加工業者招き懇談

工業組合は異業種ながら不離一体の関係にある県内の金型加工業者と懇談会を開いた。開催したのはさる1月30日、岐阜市内のホテルパークみなと館で、工業組合の新年懇親会をかねて行ったもの。出席者は工業組合側は大松理事長ら30人、金型加工業界側は10人。

この懇談の席上、工業組合側は『いま県内成形加工業界は新しい活路を求めて工業組合の充実やプラスチック産業展の開催準備と取り組んでいる。一体の関係にある金型加工業界の協力なくしては成果が期待できない』として共存共栄の協力を呼びかけた。

これに対し、金型業界側は『県内金型業界は発展途上にあるので企業規模が小さいが、決して技術水準は劣っていないといえる。これを機会に一層の技術レベルの向上、生産分野の拡大など新しい対応を考えていきたい』と成形業界との協調を約束した。

また、こんども定期的に懇談会を開き、両業界の協調と発展を図っていくことにした。



金型と成形業界の協調をめざして開いた懇談会



『浄油機』の技術講習会開く

岐阜県プラスチック技術研究会は2月24日県工業技術センターで技術講習会を開いた。テーマは『射出成形機の作動油の浄油は有効か、経費の節減に役立つか』で、松下電器産業開発部の香山正晃氏を招いた。

香山講師は、静電フィルター式浄油機の開発担当で、この席上①浄油能力が高い②取り扱いが簡単③運転コストが低いなどの特色を強調した。

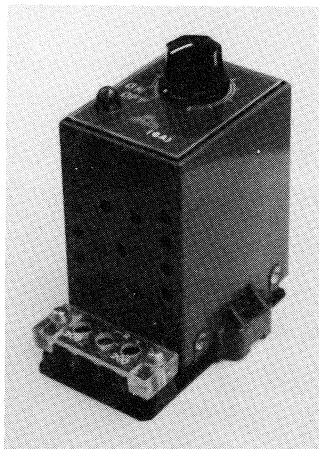
とくに機械を故障させる酸化物（スラッジ）を除去、油を長寿命化と再利用に役立つことと、0.1ミクロンの不純物を除去するという浄油能力があると説明、最後に実演が行われた。

なお、工業組合では同浄油機の性能と組合員の希望が多ことからJ15型とJ30型を共同購入し、低料金で共同利用事業を開始した。（詳細は6頁）

工業技術センターで開いた浄油技術講習とその実演

**電気代金が安くなる
交流電流調整器を斡旋**

電気代金が節約できる『交流電力調整器』を工業組合でありませんしている。プラスチックの成形には、ノズル温度の適正が重要であり、従来はスライダックト



省電力型の交流電力調整器

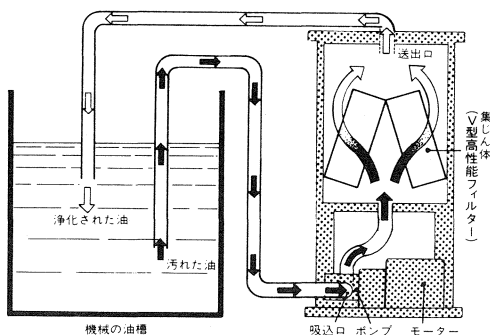
ランスを使用されてきた。しかし、このトランスでは温度調整のため電圧を下げて使用している時でも、常時、定格電流が流れ、電力をムダ使いしていることになる。

工組があっせんする交流電力調整器（商品名サミー）サイリスタを使用した電力調整器で、必要な出力電流を安定供給できる。しかも、使用しない場合は、少ない電流しか流れないので電力の節減になる。従来のトランス方式に比べると、使用電力は25%から50%も省電力となる。

サミーは工業組合事務局にあるが、トランス方式に比べぐんと小形（約3分の1）軽量（約20分の1）で、価格も6千5百円で求めやすい。

**浄油機の共同利用開始
J15型とJ30型の2機種**

工業組合は浄油機の共同利用を開始した。静電フィルター式・ナショナル浄油機を購入し、組合員に利用してもらうもので、J15型（1日100リットル能力）とJ30型（1日200リットル能力）の2機種。レンタル料金はJ15型が1日4千5百円、J30型は6千5百円。機械の持出しは、指定場所へ利用者が受取、返却するのが原則で、1日とは貸出日の時刻から翌日同時刻を単位とし、計算する。申込みは工業組合事務局へ。



ナショナル浄油機の浄油機構図



秋元産業株式会社

本 社 東京都中央区八重洲5の7
名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)
TEL <052> 582-5071

全国業界ニュース

国産ナフサ輸入価格並みに

通産省・資源エネルギー庁は、深刻な不況に陥っている石油化学業界を救済するため原料に使っているナフサ（粗製ガソリン）の輸入制度を改善する。石化業界は割高な国産ナフサの使用がコスト増→構造不況の原因になっているとし、同庁に輸入ナフサを自由に輸入できるよう制度の見直しを求めている。

具体的な措置は①コンビナートごとに石油精製と石油化学会社が話し合い、国産ナフサ価格を輸入ナフサ価格並みに引き下げる②石化業界から要望の強かったナフサの輸入権と国産ナフサの石油税免税は認めない③国産ナフサ価格の引き下げで収入減となる石油業界に対して57年度以降に石油備蓄の補助を増やすなどが柱となっている。

食品衛生法改正で個別規格

食品衛生法の改正法が、さる2月16日、官報で厚生省告示となった。合成樹脂製の器具または容器包装に使用される材質は、熱硬化性樹脂、塩ビ、ポリエチレン、ポリプロピレン、スチレン、塩化ビニリデン、ポリエチレンテレフタレート（PET）の6樹脂に、新しくメタクリル樹脂、ナイロン、ポリメチルペンテンの3

樹脂が新たに追加された。しかも、材質、溶出試験も従来バラバラの規格であったものが整理、統合された。

また、清涼飲料容器に従来から認められているポリエチレン以外にも使用許可になり、こんごポリエチレンテレフタレートの大量進出が予想される。

プラ飲料容器で業界が規制

厚生省はPETなど9種類のプラスチックを清涼飲料用容器として使用を認めたが、その容器の散乱を防止する必要から全国清涼飲料工業会との間で、業界の自主規制を盛り込んだ確約書を交わした。内容は①プラスチック容器は1リットル以上の大型容器に限って使用する②自動販売機を使用せず、小売店で店頭販売するの2点からとなっている。

昨年のプラ加工機は横ばい

プラスチック加工機械の昨年の総生産台数は11,223台で、前年比1.6%減となった。金額では2.5%増でほぼ1昨年と変わらなかった。これは大半を占める射出成形機の生産が8,497台と前年比1.3%増と堅調に推移したからである。押出機、ブロー成形機、真空成形機は低調であった。

TOSHIBA

東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11

名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号

化工機課 TEL <052> 561-8341

デザインのすすめ
岐阜県プラスチックデザイン協会

消費者は商品の外観に何を求めているか。

「製品をお買いになる時、あなたはどの点を重視しますか」という消費者アンケートが、日本産業デザイン振興会によってなされた。

それによると、冷蔵庫81%、洗濯機87%、掃除機85%、電子オープンレンジ74%、ホットプレート69%（18問中5問選択の複数回答）と、どの商品も第1位を占めたのが「性能」である。

しかし、本来機器の性能は、使用してみて初めてわかるものであり、今日市場にある家電製品間の性能差異がそれほどあるとは思えない。

とすれば、考えられるのは、メーカー側のセールストーク、友人、知人の使用経験など他人の情報、メーカーやブランドの信頼である。

この質問の中にも、「色・形が自分の好みに合うこと」「全体の形や操作部分などがシンプルなこと」といった、表面的なデザイン・スタイリングに関する項目も含まれているが、それぞれ5～10%前後となっており、消費者の評価基準に含まれていない。

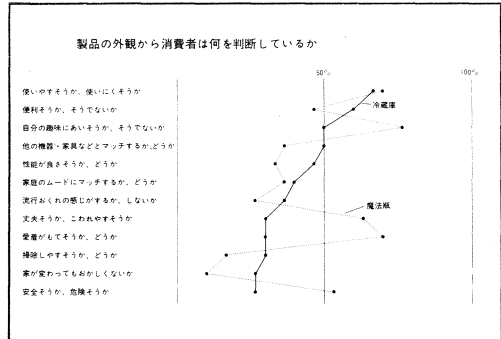
では、なぜ、これほどまでにデザインが重要とされているのだろうか。

これは、消費者が商品の形状から何を感じ、何を判断しようとしているかが大きな「カギ」となることを意味している。

つまり、単に色とか形がいいデザインだということではなく、商品の性能とか機能といった本質的なもの、内面的なデザインをとらえようとしていることである。

そのために、企業の姿勢とか考え方を明確にし、あくまでも性能の良い製品を使いやすい製品へとまとめるデザインを実行しなくてはならない。美的形状はその結果として生まれ、決して先行するものではない。

消費者は、商品の外観・形状に、商品の合理性を求めているのである。



三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂 **NOVAMID** ポリカーボネート樹脂 **NOVAREX®** PBT樹脂 **NOVADUR**

中低圧ポリエチレン **NOVATEC** 高圧ポリエチレン **NOVATEC-L**

三菱化成工業株式会社
本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (〒100)

高速自動機を導入し新分野開拓

大東化工



武山治夫さん

ことし第2回目の工場訪問は、大垣市高屋町2丁目にあるブロー成形の大東化工（武山治夫代表取締役、従業員6人、資本金1.600万円）を訪ねた。高屋町は、国鉄大垣駅に近い住宅や商店街の中心地で、いまは事務所だけ。成形工場は国道21号線のバイパスに近い林町7丁目にある。約1,300平方メートルの用地に平屋の成形工場と一部2階建ての倉庫が並ぶが、ここも用地が手狭になっており、工場移転を考えねばならない時期に来ているという。

36年に先代がポリ茶びん生産

創業は昭和36年6月。先代（故、治郎氏）が高屋町にブロー成形機1台を入れ、ポリエチレンの茶びんを生産、販売したのが始まり。当時国鉄の各駅で売られる茶びんは陶器製で、多治見市など東濃地方で量産されていた。そんなことにヒントを得た先代が、ブロー成形機を買い入れ、生産、販売に乗り出したもの。

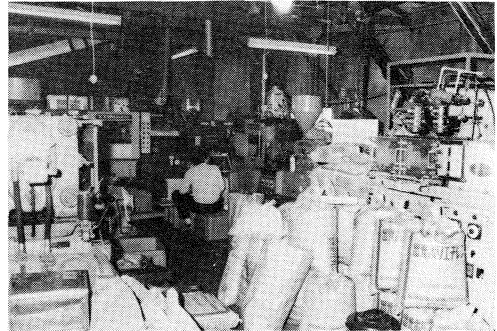
このポリ茶びんは安く、割れず、軽く、扱いよいので、全国の駅弁屋さんに大うけ、名古屋から西方の駅弁屋さんのほとんどが買ってくれたという。ところが実入りのよい仕事はすぐマネられ、当初、全国で3軒ぐらいだったポリ茶びん屋は2～3年で100軒にも増えてしまった。そのうえ国鉄の電車化や乗客減などから駅

弁はそれほど売れず近年、ポリ茶びんの売れ足はとまってしまった。

このため会社では新型デザインのポリ茶びんを生産したり、また、ドライブイン、おにぎり販売、外食産業、弁当屋など新しいユーザーを開拓するなど打開策を講じているところ。

工業組合では一番若い経営者

林町にある成形工場（写真）には小型ブロー成形機7台（40ミリ～50ミリ）と射出成形機が3台（5オンス）がぎっしり並ぶ。創業い



らい何度も更新しながら整えたもので、4月にはブローの高速自動機が入る予定。

そして伸び悩む茶びんに代わって、工業部品や薬容器など各種の小型容器類の生産を開始している。

武山さんは昭和24年生まれ、工業組合では一番若い経営者でもある。昭和43年から先代と共に仕事をやり、先代が亡くなる1年前の昭和53年からほとんど肩代り経営し、セールスから新製品づくりにと連日休む暇がない忙しさという。その武山さん、最後に『過当競争のこの世の中で生き残れるのは智恵比べだ』と話していた。

事務局だより

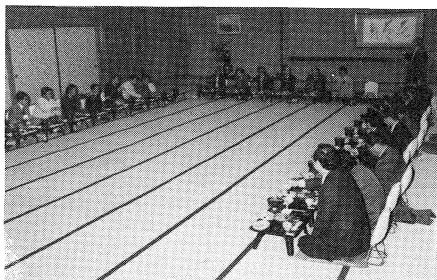
会員と事務局を結ぶページ

◦活路開拓の資料や録音は事務局へ◦

予定の発刊期日より遅れましたが、工組会報第47号をお届けします。遅れましたのは、この1年間、組合員全員の協力のもとに実施した『プラスチック業界の活路開拓調査指導事業』の全スケジュールが終了、3月31日午後から開かれた全員講習会を掲載することにしたからです。この席上、資料配付しました事業報告書は活路開拓事業の必要性から調査研究をいただいた専門家委員の提言にいたるまで、詳細に記録したものです。こんごの経営活動にお役立て下さい。また、収録できなかった資料や懇談会委員会の発言などはすべて録音、保存してありますので、事務局へおたずね下さい。

◦他業界との懇談会にはぜひ出席を◦

記事の中でも紹介しましたように工組と金型加工業者（中部プラスチック金型協組の岐阜県内会員）と懇談会を開きました。こうした金型業界と成形業界との共存共栄は、県内8会場で実施しました地域集団懇談会でも強い要望、意見として出ました。こんごも機会あるごとに企



金型業者との懇談会

画、懇談、懇親会を開催しますので、ぜひ参加下さい。

◦掃除機とスポットクーラーの販売◦

好評でしたスポット電気暖房器の共同一括購入について、こんどは『産業用掃除機』と『スポットクーラー』を一括購入品目にしました。機種と価格はすでに案内書を郵送しましたとおりで、格安値段となっております。快適な作業環境をつくり、生産性のアップにご利用下さい。また、同封のカatalogに掲載の業務用各機器についてもご希望をお寄せ下さい。

岐阜県のプラスチック
1982 47号

昭和57年3月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号

(岐阜産業会館4階)

電話(0582)72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

出光

の石油化学製品

◎取扱品目 中低圧ポリエチレン
ポリスチレン ポリプロピレン
高圧ポリエチレン カルブ®
ポリカーボネート



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111

名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611

三菱油化株式会社

取締役社長 吉田正樹

本社 〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号(三菱ビル)
TEL (03) 283-5689代
名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビル5階)
TEL (052) 563-5641代

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友®TPE

合成ゴムSBR

住友®SBR

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

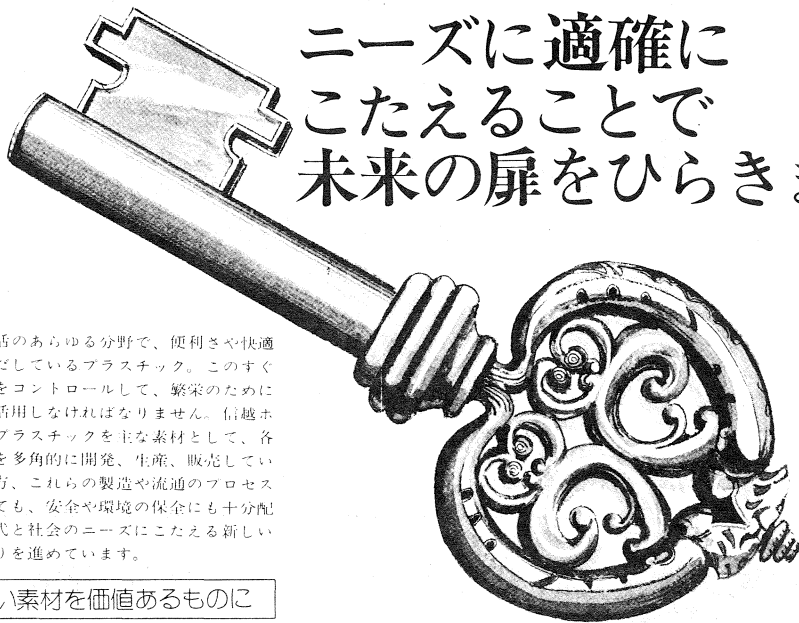
ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式会社

名古屋営業所

名古屋市中村区名駅四丁目27番23号(新名古屋ビル東館5階)
電話(052)581-1581代



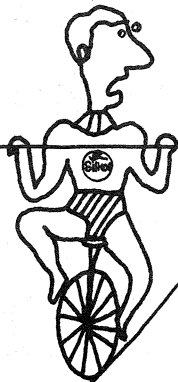
ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたっては、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 **信越ポリマー**

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら
ではの、**離れ技**。

**信越シリコーン
離型剤**

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を侵しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511(代)

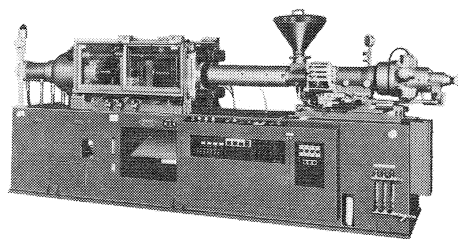


●80年代テーマ

時代を「射る」

高速精密汎用射出成形機 SEシリーズ

「高附加価値成形」と「省エネルギー」の両機能を兼ね備えた80年代の射出成形機です。省電力対応型の電子コントローラによって、射出・型締および油圧など各機構をデジタル制御。とりわけ油圧機構には新機軸の油圧回路SSEシステムにより、油圧の動力損失を最小限に抑えて、消費電力を大幅に減少させました。省電力効果は40～70%（製品により異なる）と極限を追求したものです。



NISSEI 1歩進んだ射出成形機をおとどける
日精樹脂工業株式会社

本社・工場 長野 県 坂 城 町 電話 (0269) 2-3000 (大代表)
営業所 東京 ☎ (03) 357-7541 (代表) 大阪 ☎ (06) 693-7881 (代表)
名古屋 ☎ (052) 732-0261 (代表) 長野 ☎ (02688) 2-3000 (代表)
出張所 全国27ヶ所・海外サービスステーション24ヶ所 (21ヶ国)
岐阜出張所 岐阜市西部4962-1 (茜ビル) ☎ (0582) 72-5952



伊藤忠商事株式会社

名古屋支社 エネルギー化学品部合成樹脂課

名古屋市中区錦一丁目5番11号
〒460-91 名古屋中郵便局私書箱10号
電話 (052) 203-2481~2488

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

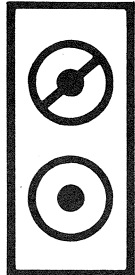
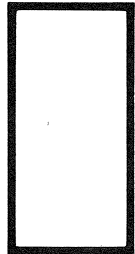
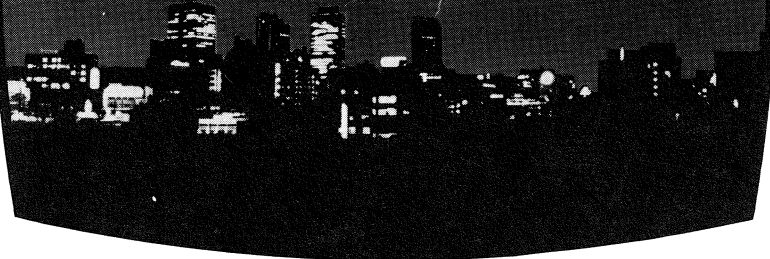
取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100



日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

ゆたかな生活環境をフリエイト

発見と発明

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った
発見と発明を…



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 〒103 東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 / 仙台営業所 ☎(0222)66-1525



生きてる素材。
三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS



三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

RISU
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本 社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支 店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮